

専門研修「土壌汚染対策（用地管理）」

【日 時】	令和3年11月8日（月）・9日（火） 9：00～17：00
【会 場】	CIVI 研修センター日本橋
【受講者数】	65名
【講 師】	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都 環境局 環境改善部 化学物質対策課 職員 ・一般社団法人 土壌環境センター 広瀬 彰一 氏 (株式会社イー・アール・エス エンジニアリング部 チーフエンジニア) ・公益社団法人 土木学会 建設技術研究委員会 土壌・地下水汚染対策研究小委員会 浅井 靖史 氏 ほか ・板橋区 資源環境部 環境政策課 職員 ・牛島総合法律事務所 弁護士 井上 治 氏 ・一般財団法人 日本不動産研究所 資産ソリューション部 次長 廣田 善夫 氏 ・豊島区 環境清掃部 環境保全課 職員 ・国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門 地圏化学研究グループ長 保高 徹生 氏
【研修内容】	<p><目的> 公共用地取得における土壌汚染対策関係法令の手続きや、土壌汚染地のリスク管理などの知識を習得することにより、土壌汚染への対応に必要な職務遂行能力の向上を図る。</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ①土壌汚染対策関係法令の概要 ②土壌汚染調査の実務と対策の考え方 ③土壌汚染対策の実例 ④公共用地等における土壌汚染対応 ⑤訴訟事例から学ぶ土地取引における法的リスク回避 ⑥不動産市場における土壌汚染への対応 ⑦事例の紹介と課題の検討 ⑧土壌汚染対応における課題と今後の在り方 <div style="text-align: right;">  <p><講義の様子></p> </div>

【受講生の声】

- ・法と条例の考え方について整理でき、とても勉強になりました。
- ・普段の業務の中で受け取っている土壤汚染調査報告書が、どのような調査を基に提出されているのかを知ることができました。
- ・様々な方法で対策をしていることや費用、時間が多くかかることが分かりました。
- ・初歩的な言葉の定義から対応事例まで、幅広い内容でとても分かりやすかったです。知識だけではなく、区職員としてどのような対応をするべきか考えることができました。
- ・具体的な訴訟事例に触れることで、実務の留意点について学ぶことができました。
- ・土壤汚染、地中埋設物が取引価格に与える影響について、参考になりました。
- ・検討課題では、各方面への対応について学ぶことができ、良い経験になりました。
- ・土壤汚染についてのリスク評価やステークホルダーとの合意形成について、とても分かりやすくご講義いただき苦手意識が少し薄れました。